



2011全日本ARDF競技大会
 (社)日本アマチュア無線連盟

2011年10月29日(土)

会場：香川県さぬき市「ツインバルながお」
 緊急連絡先：総務部長
 運営部長
 審判長
 救護場所：スタート地点



2011全日本香川大会 (3.5MHz)での私の判断と行動

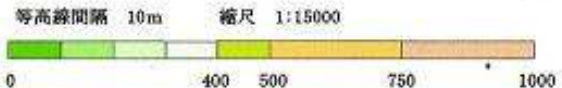
- 耕作地
- 走行可能
- 通行禁止 走行困難
- 密生走行困難
- 立入禁止
- 給水所 磁北線

2011年10月29日(土)
 於 香川県さぬき市
 安島 巧

OCAD

License no: 3469

協力
 香川県オリエンテーリング協会



初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

あなたならどう攻めますか？



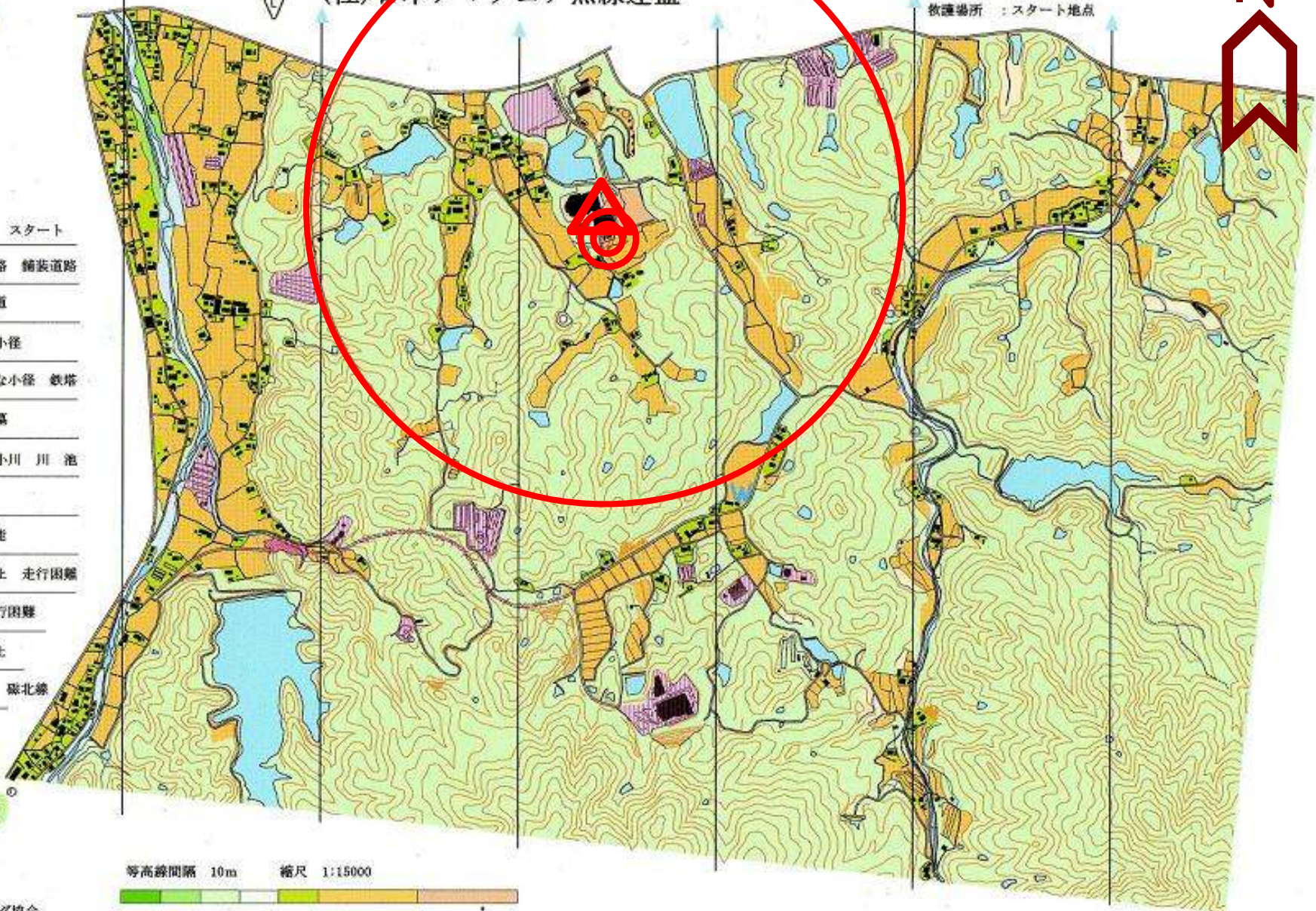
2011全日本ARDF競技大会

(社)日本アマチュア無線連盟 2011年10月29日(土)

会場：香川県さぬき市「ツインバルながお」
緊急連絡先：総務部長
運営部長
審判長
救護場所：スタート地点

地図記号

- ゴール スタート
- 主要道路 舗装道路
- 道路 道
- 小道 小径
- 不透明な小径 鉄塔
- 建物 墓
- 水路 小川 川 池
- 耕作地
- 走行可能
- 通行禁止 走行困難
- 密生走行困難
- 立入禁止
- 給水所 標北線



License no: 3469



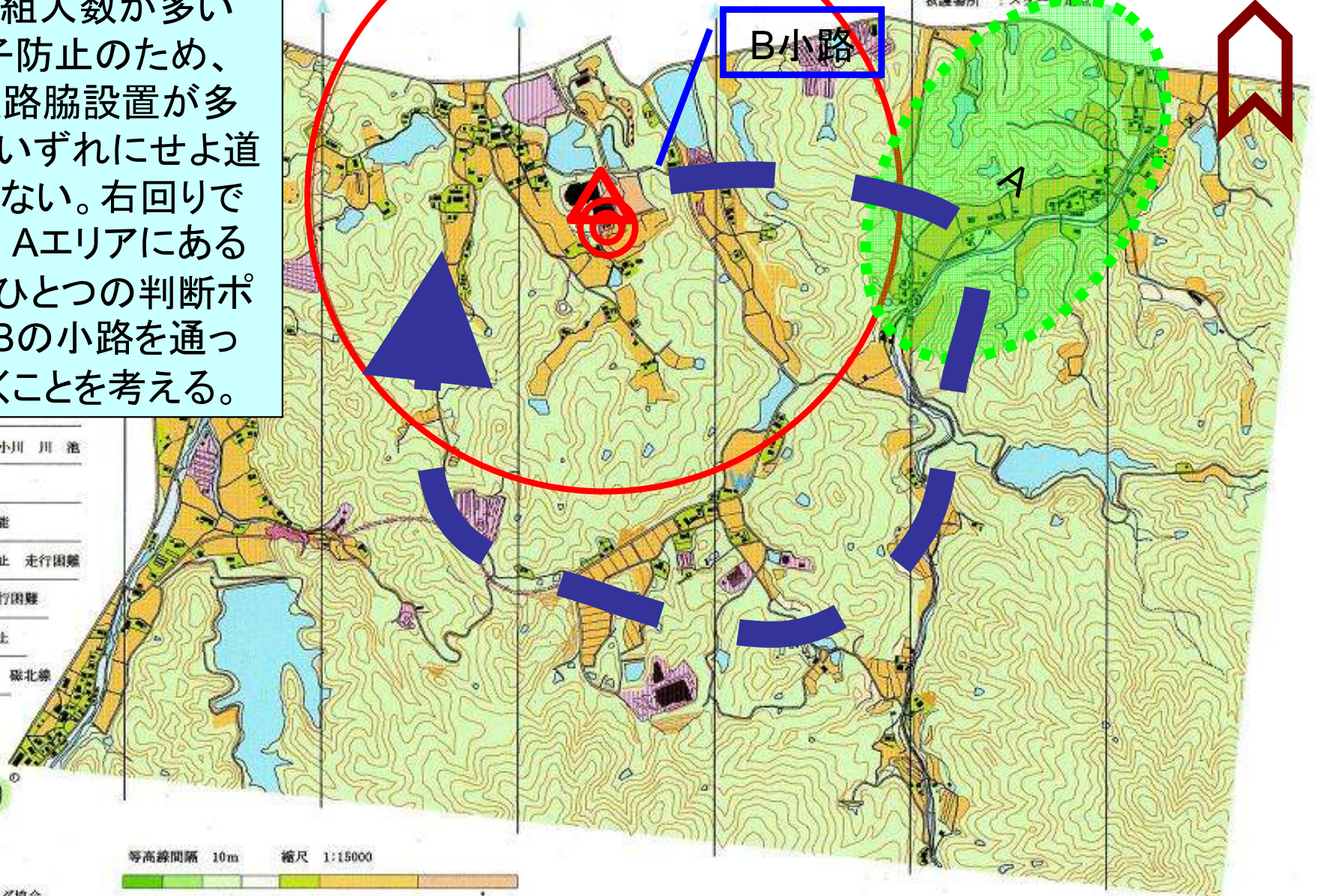
協力 香川県オリエンテーリング協会

①スタート前の地図読み
 森の通り抜けは困難そう
 だ。そして組人数が多い
 ので、団子防止のため、
 おそらく道路脇設置が多
 いだろう。いずれにせよ道
 を行くしかない。右回りで
 攻めるが、Aエリアにある
 か否かがひとつの判断ポ
 イントだ。Bの小路を通っ
 て東へ行くことを考える。

2011全日本ARDF競技大会

(社)日本アマチュア無線連盟 2011年10月29日(土)

会場：香川県さぬき市「ツインバルながお」
 緊急連絡先：総務部長
 運営部長
 審判長
 救護場所：スター



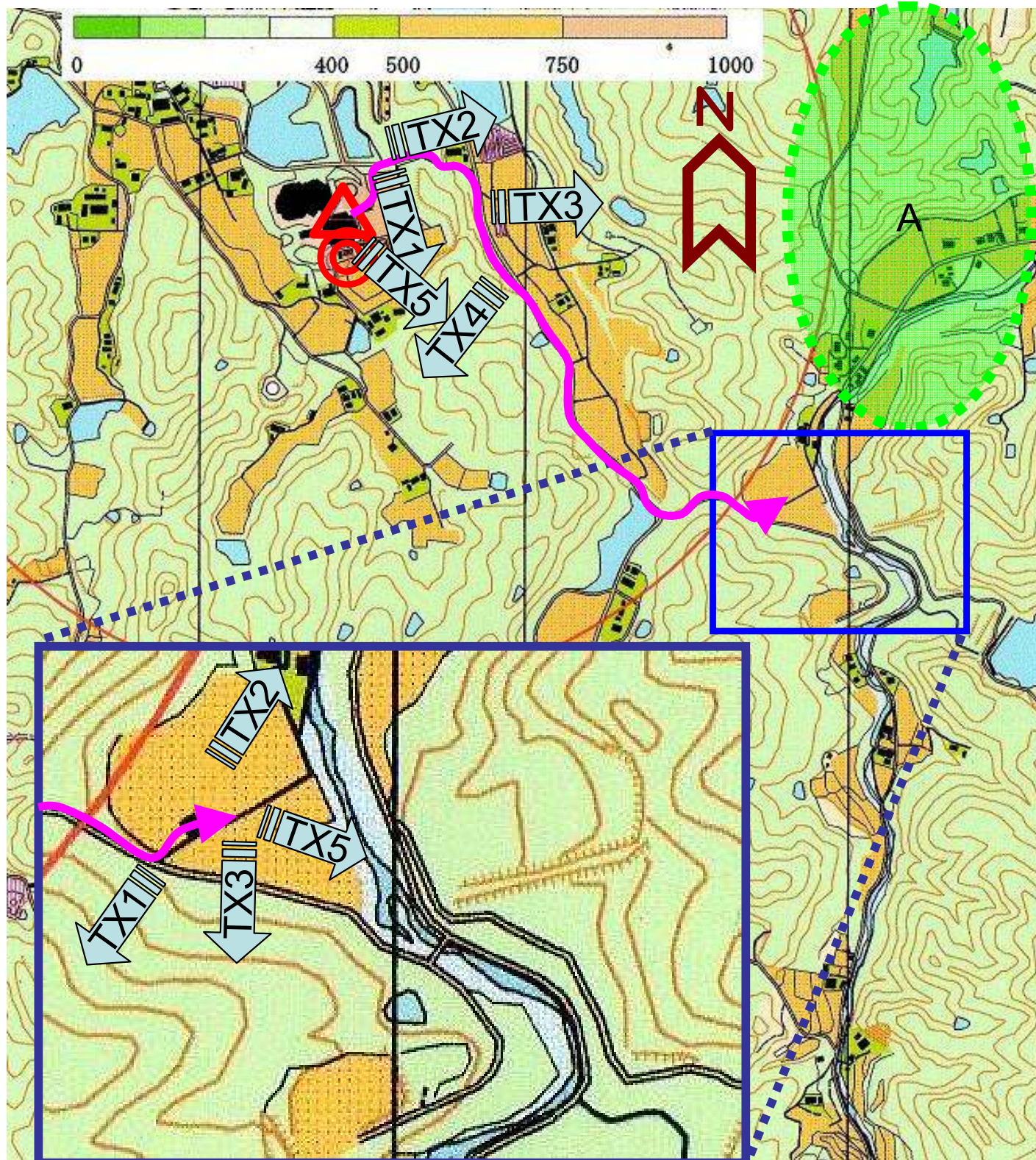
- 水路 小川 川 池
- 耕作地
- 走行可能
- 通行禁止 走行困難
- 密生走行困難
- 立入禁止
- 給水所 磁北線

OCAD

License no: 3469

協力
 香川県オリエンテーリング協会

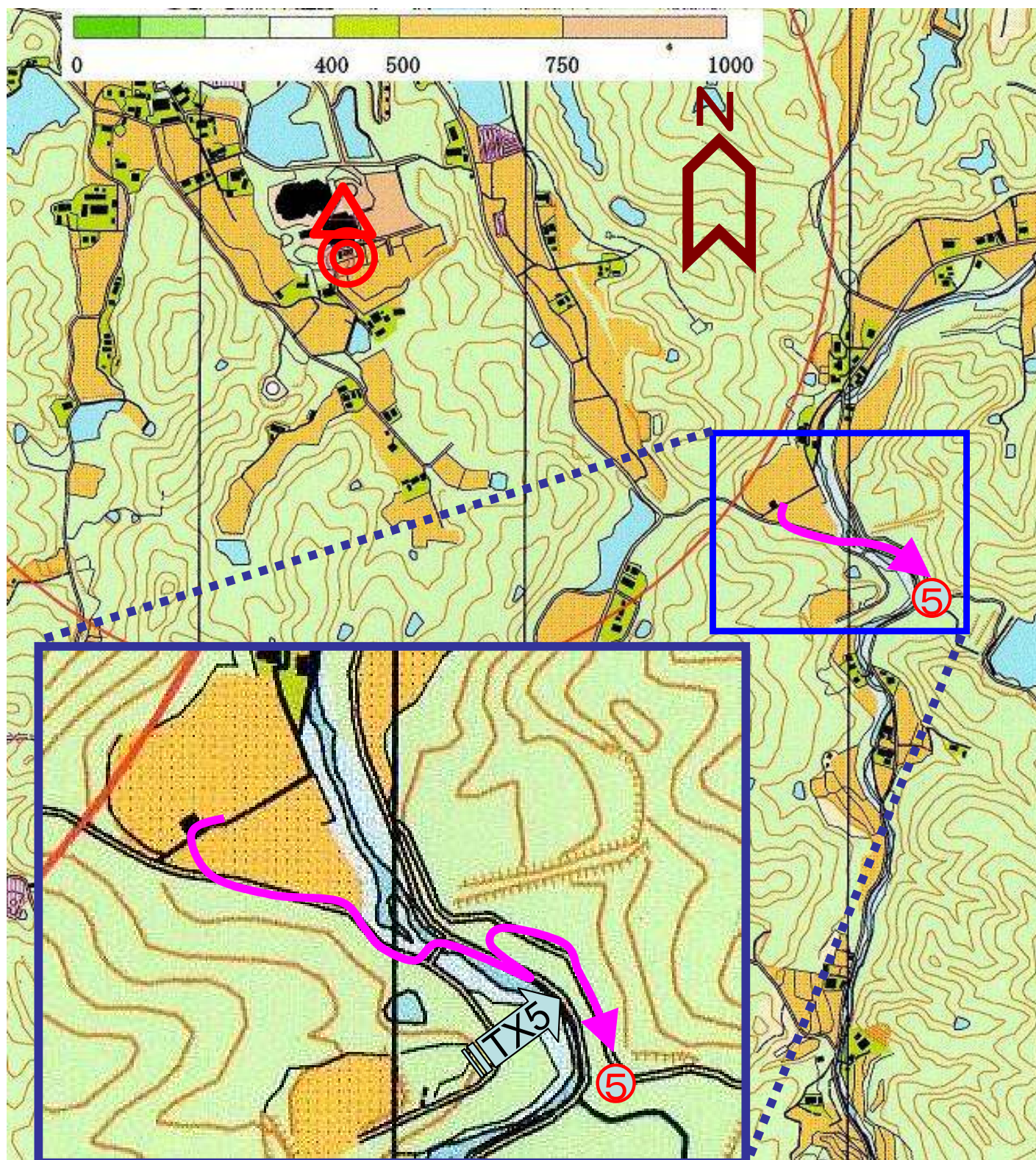




②探索開始地点

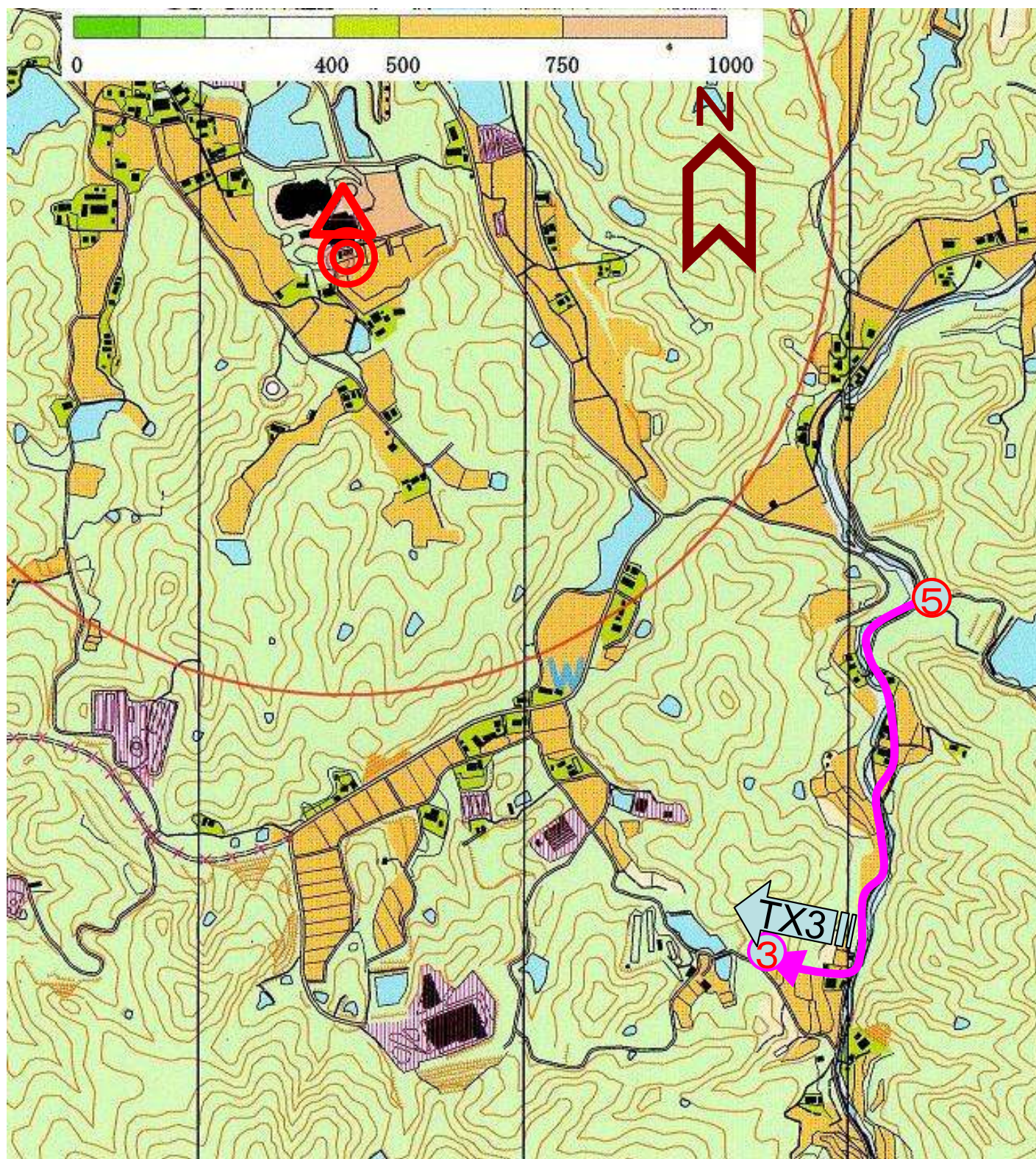
自分に不要なTX2はAエリアにありそうだ。これはラッキー。

一気に移動して、広場の中央部で方探する。TX5が結構近い。南東の谷戸の方だ。しかしそこら中に競技者がいる。



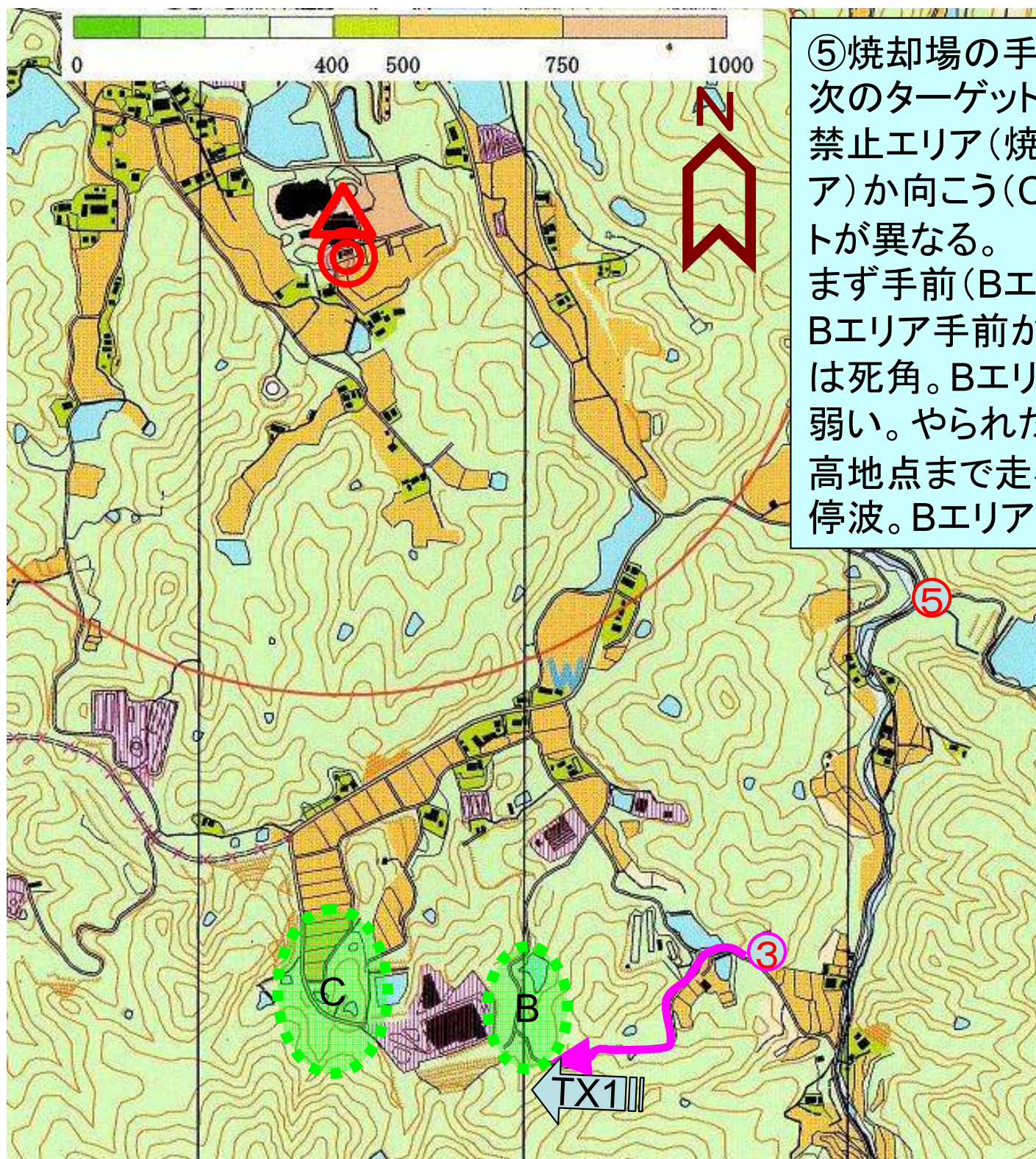
③TX5

谷戸に入ったところでTX5が鳴く。山の上のほうだ。目視で山を見上げるが見つからない。地図を見ると上に平行した道がある。上れそうな場所を探して上の道に上がる。さらに目視探索を続けていると、無効のほうでガードレールにチェックしている競技者がいる。なんだそこか。近づくとガードレールの影にフラッグがあった。TX5ゲット



④TX3

次のターゲットはTX3だ。
みんな思い思いに受信機を回している。
ショートパスの道に入ったところでTX3が鳴く。真正面の藪だ。舗装道路からは小路があるようで人が行き来している様子が見える。
数mなので藪を登る。TX3ゲット。



⑤焼却場の手前

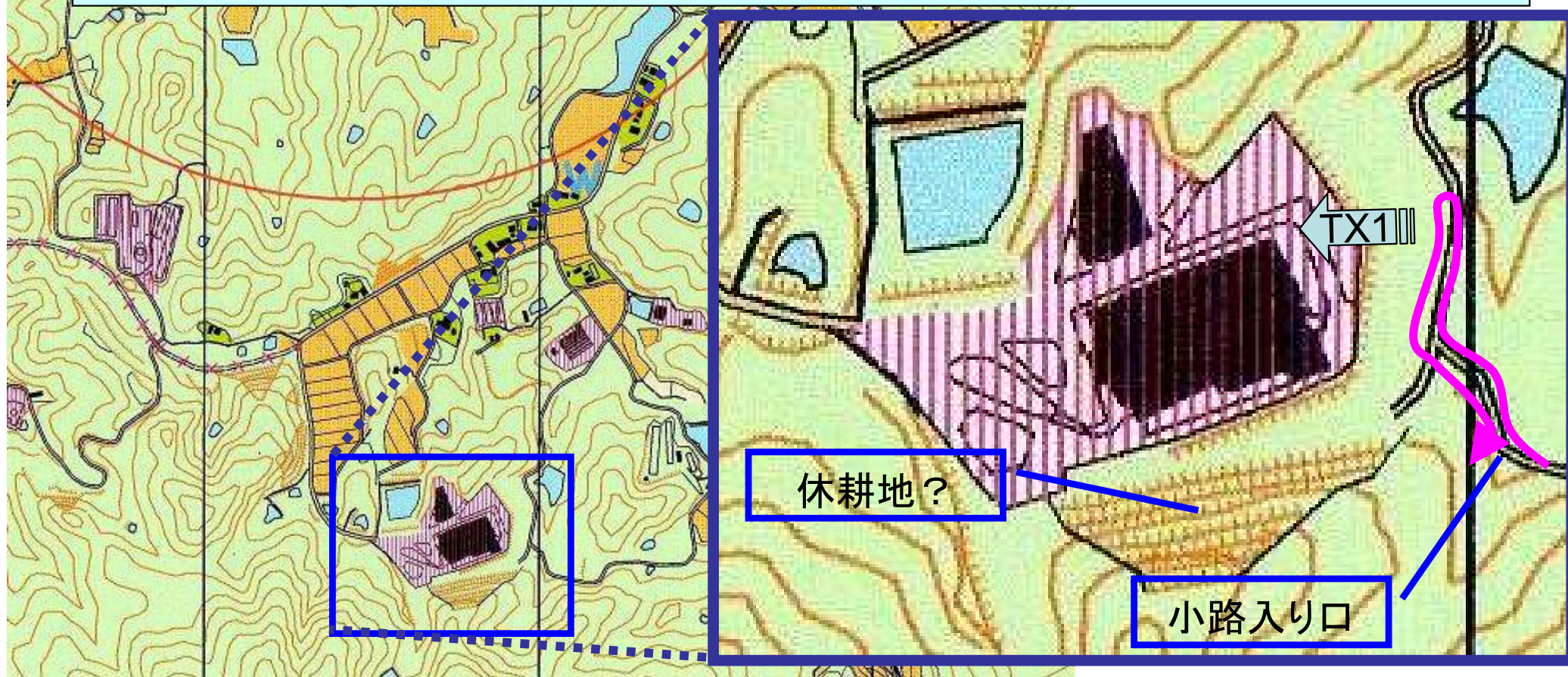
次のターゲットはTX1。方向的には立ち入り禁止エリア(焼却場)。焼却場の手前(Bエリア)か向こう(Cエリア)かでは取るべきルートが異なる。

まず手前(Bエリア)に行ってみることにした。Bエリア手前が高くなっているのでBエリアは死角。Bエリア直前でTX1が鳴く。意外と弱い。やられたか。Bエリアを見下ろせる最高地点まで走ると、少し強くなったところで停波。Bエリアの可能性は0ではない。

⑥藪コギ決断

しばらくあたりを目視探索する。焼却場の南側へ通じる山道に多くの人が出入りしている。しかし、ゲットした様子は無い。

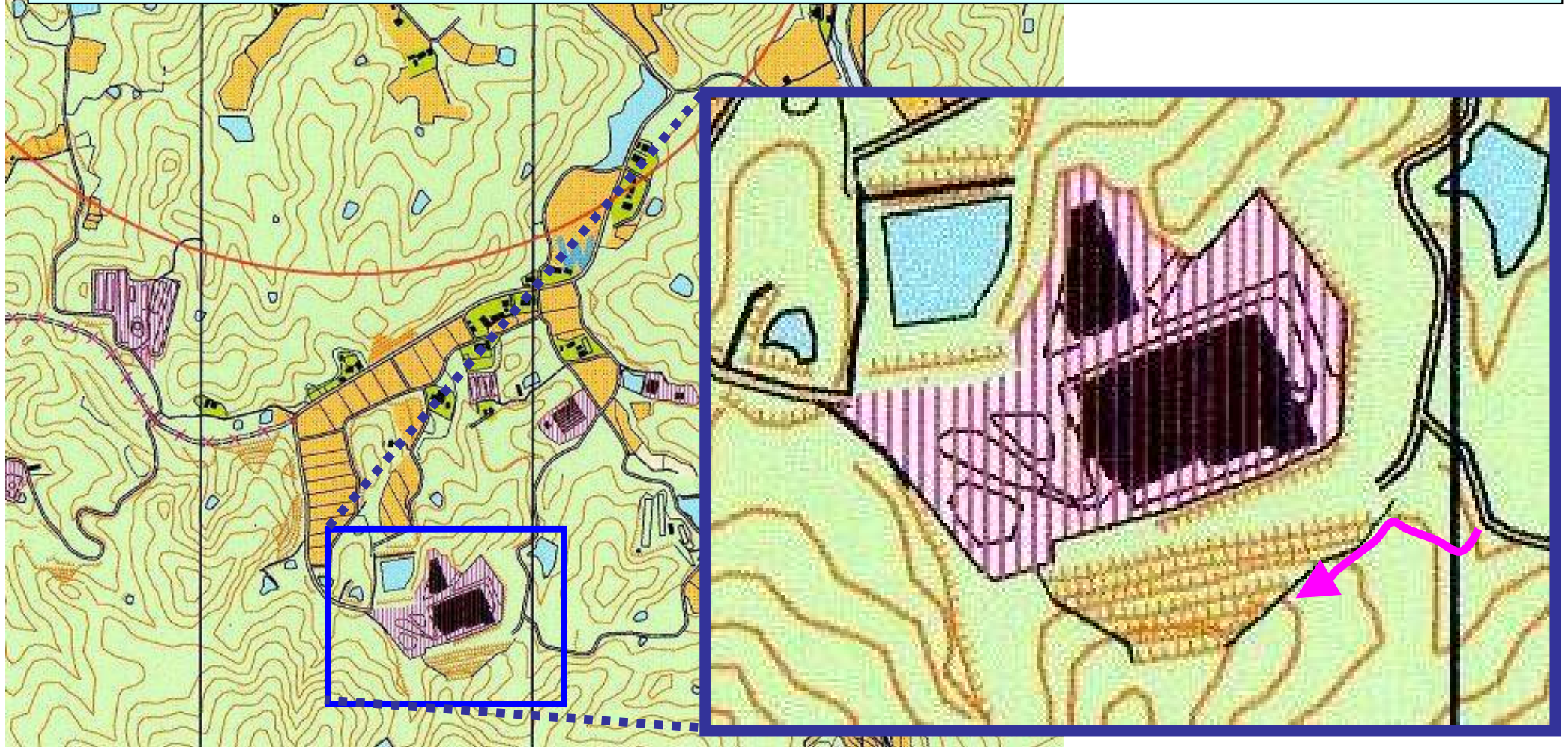
TX1が鳴く。やはり焼却場の向こう側だ。軍団が駆け上がってくる。自分は逆に少し下って焼却場の北側の山を渡れるかうかがう。しかし無理ということがわかる。やはり北側を大回りしななければならないのか。もう一度地図をよく見る。焼却場の南側は休耕地(競技後拡大してよく見ると休耕地でなく崖)になっている。しかも入り口には小路がありある程度行けそう。ショートパスしよう。今度は駆け下りてくる軍団とすれ違い、小路に入る。

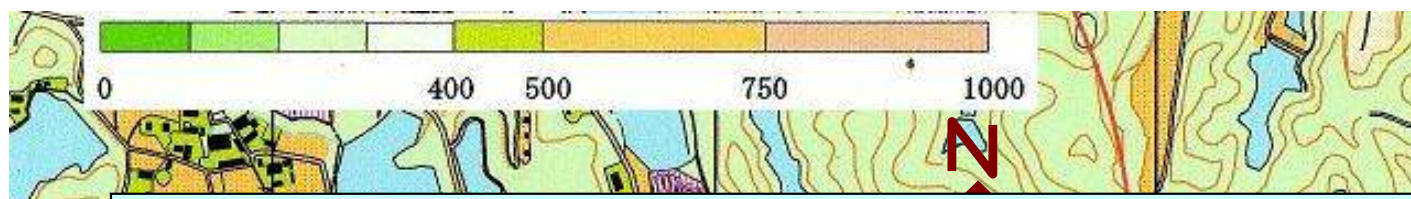


0 400 500 750 1000

⑦山の上へと続くフェンス

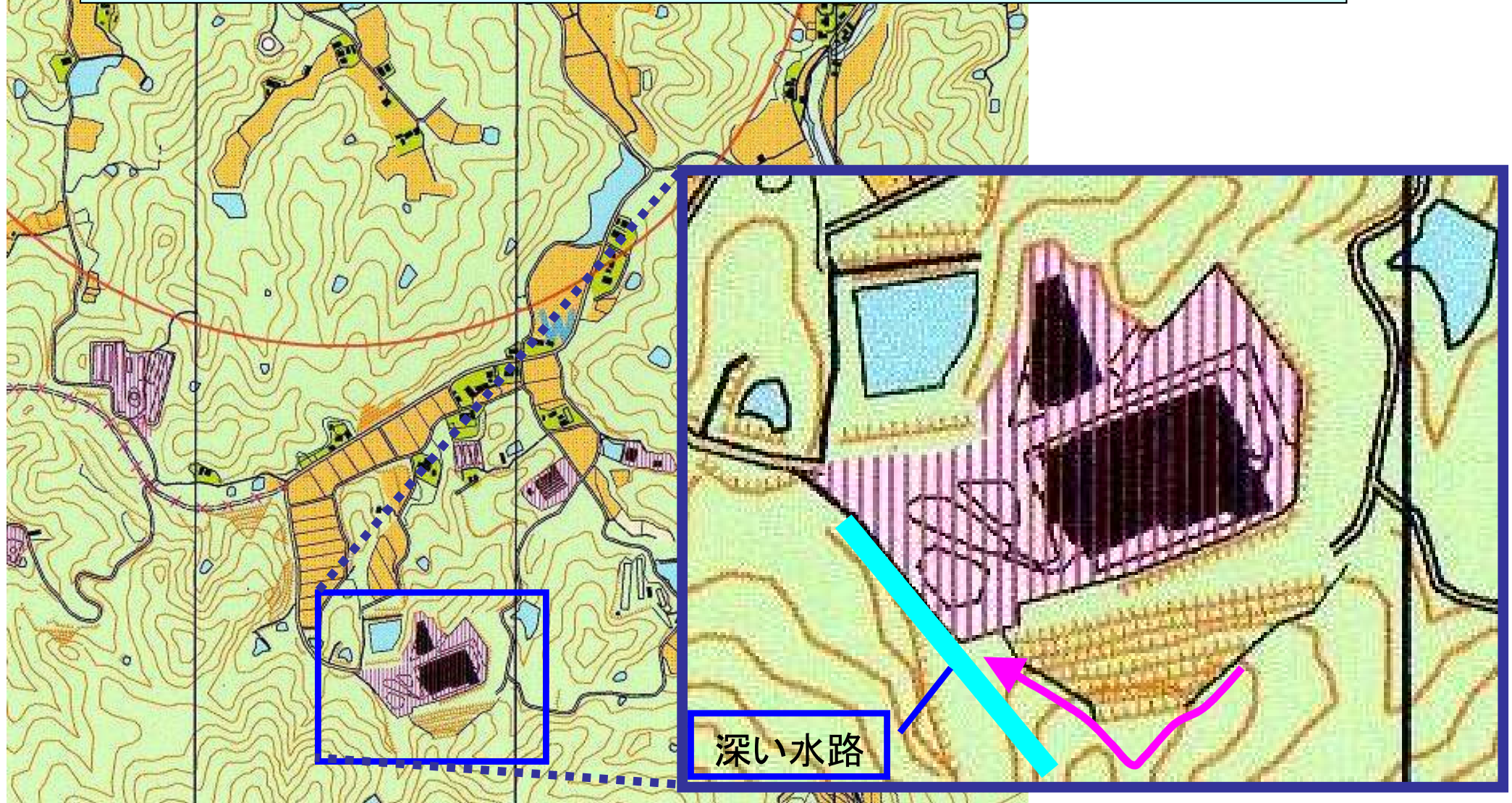
小路を進んでいくとフェンスと出くわす。このフェンスは山の上の方へ伸びている。なんてこったい。ちょっと躊躇するがフェンス沿いに進むことにする。くもの巣が大量にあるため、いつもは短くしているロッドアンテナを伸ばしてくもの巣をよけながら進む。だんだん坂が厳しくなってくる。バランスを崩してつかんだ木はタラ？の木で大小のトゲトゲのある木だった。手のひらを見ると5・6本のとげがささり血がだらだらとたれる。丁寧にとげを抜く。アンテナも折れてしまった。下を見ると後続部隊が下から様子を伺っている。これでは戻れない。



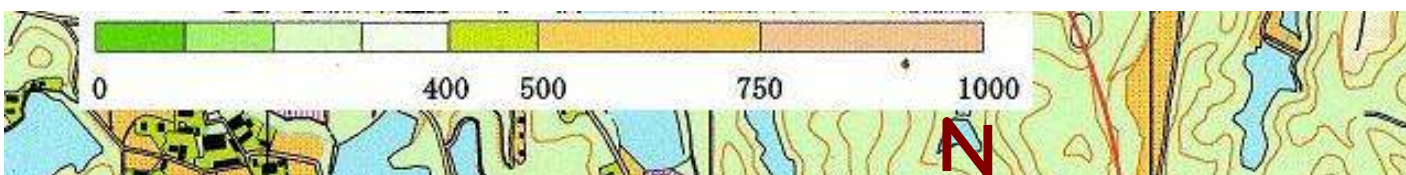


⑧絶体絶命

さらに進むとフェンスは直角に折れ、今度は急なくだり。降りて行き着いたところは数mはある深く幅広の水路。完全に行く手を阻まれた。フェンスを乗り越えるしかないのか。

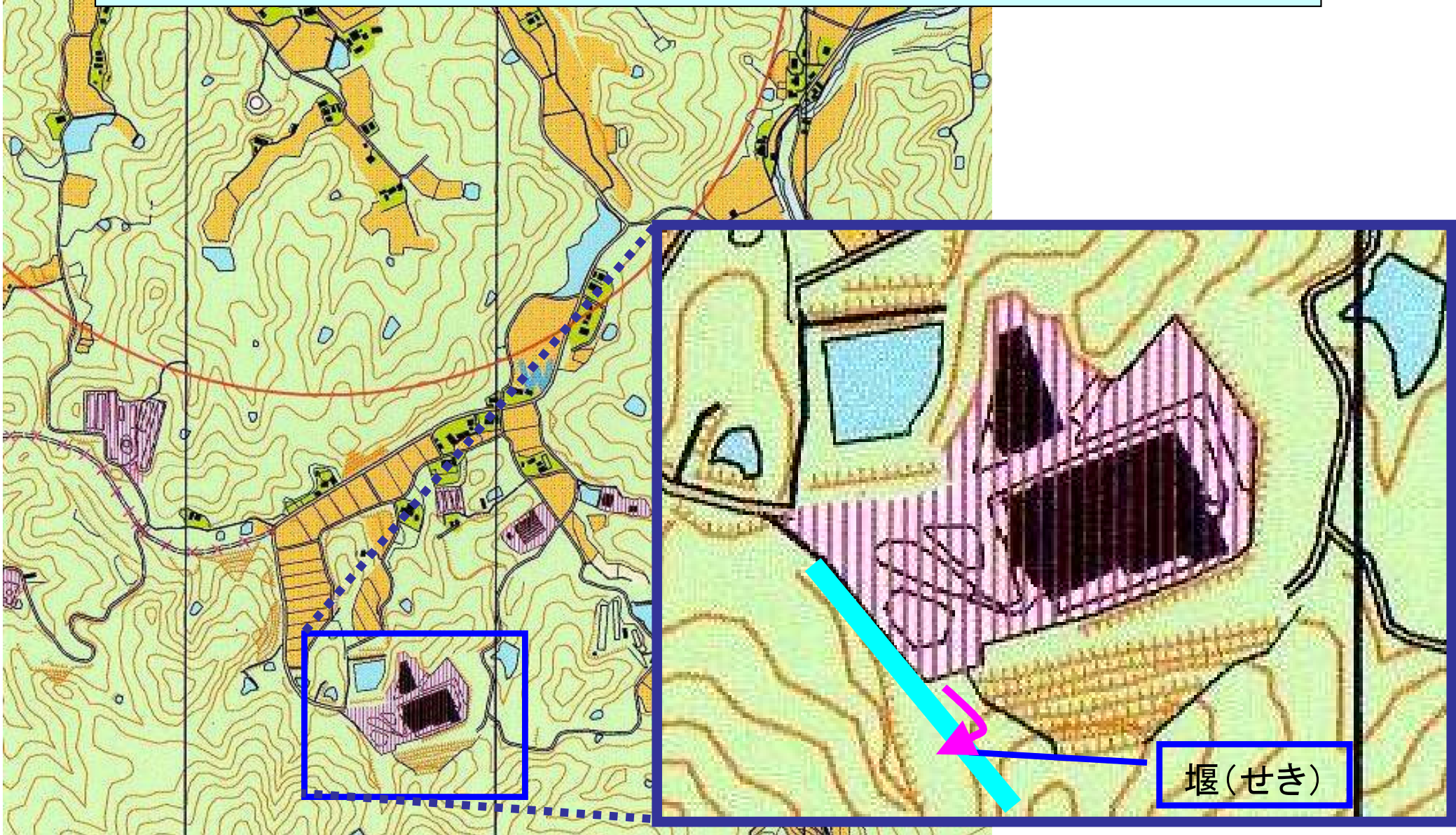


深い水路

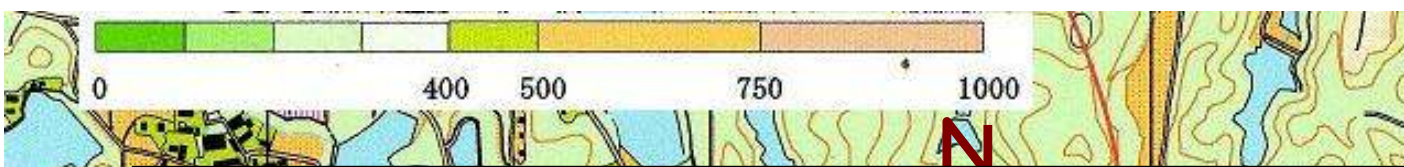


⑨堰(せき)を利用して水路を横断

5・6人の後続部隊が水路上流の堰を発見し渡ろうとしている。しばらく見ていると渡った人がパタパタと走り出している。舗装路のようだ。自分も渡る。

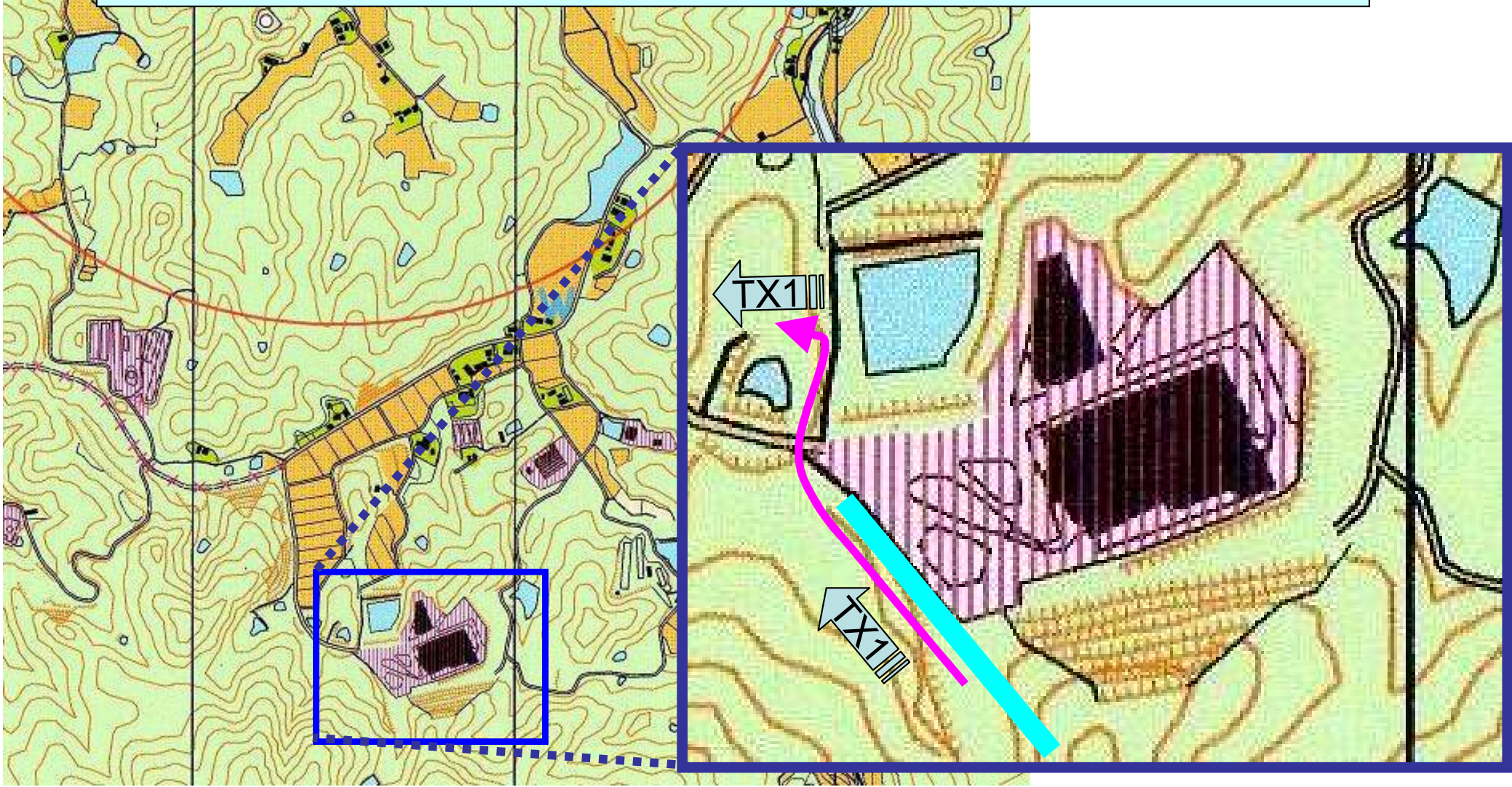


堰(せき)



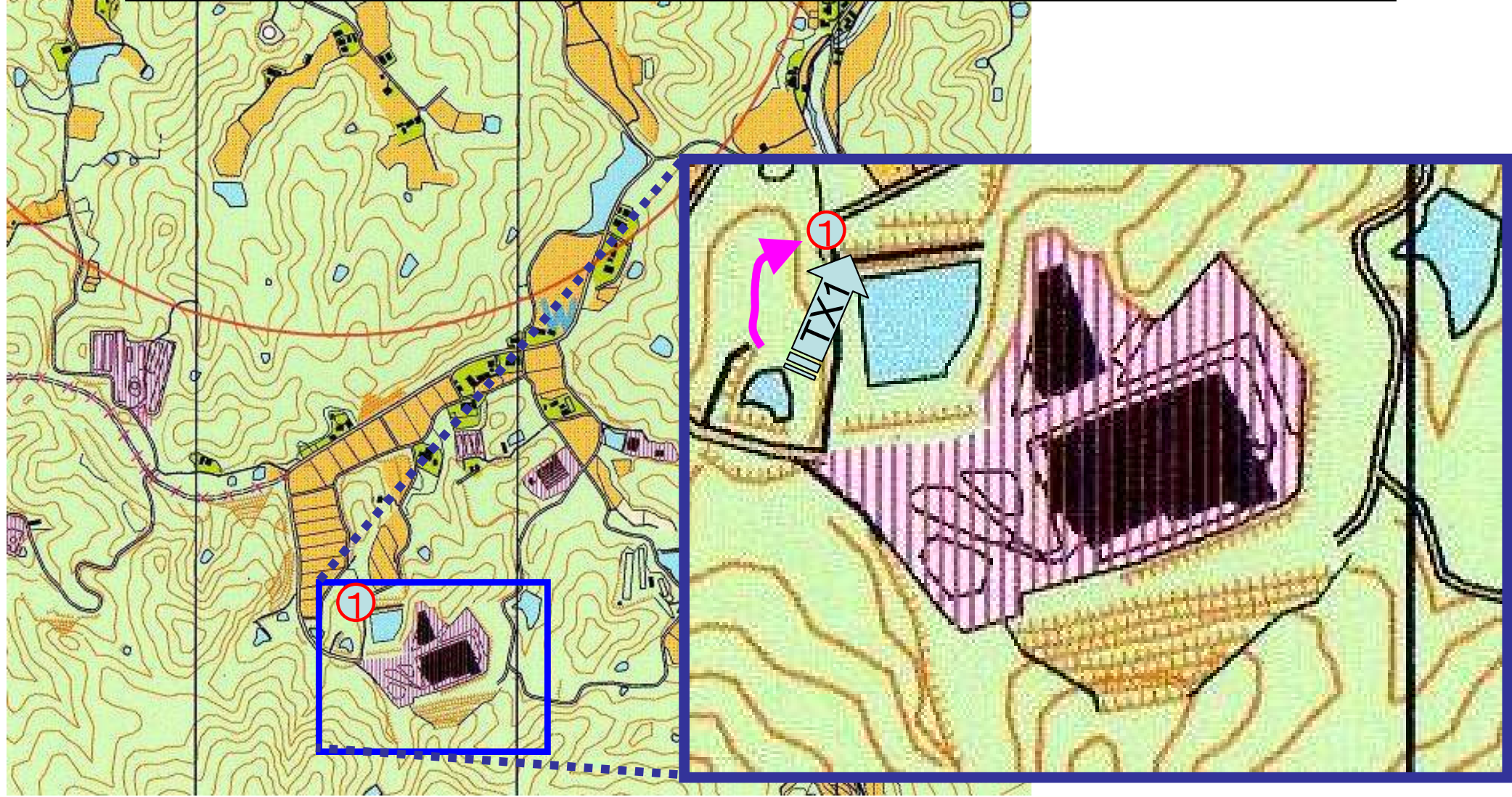
⑩再び藪へ

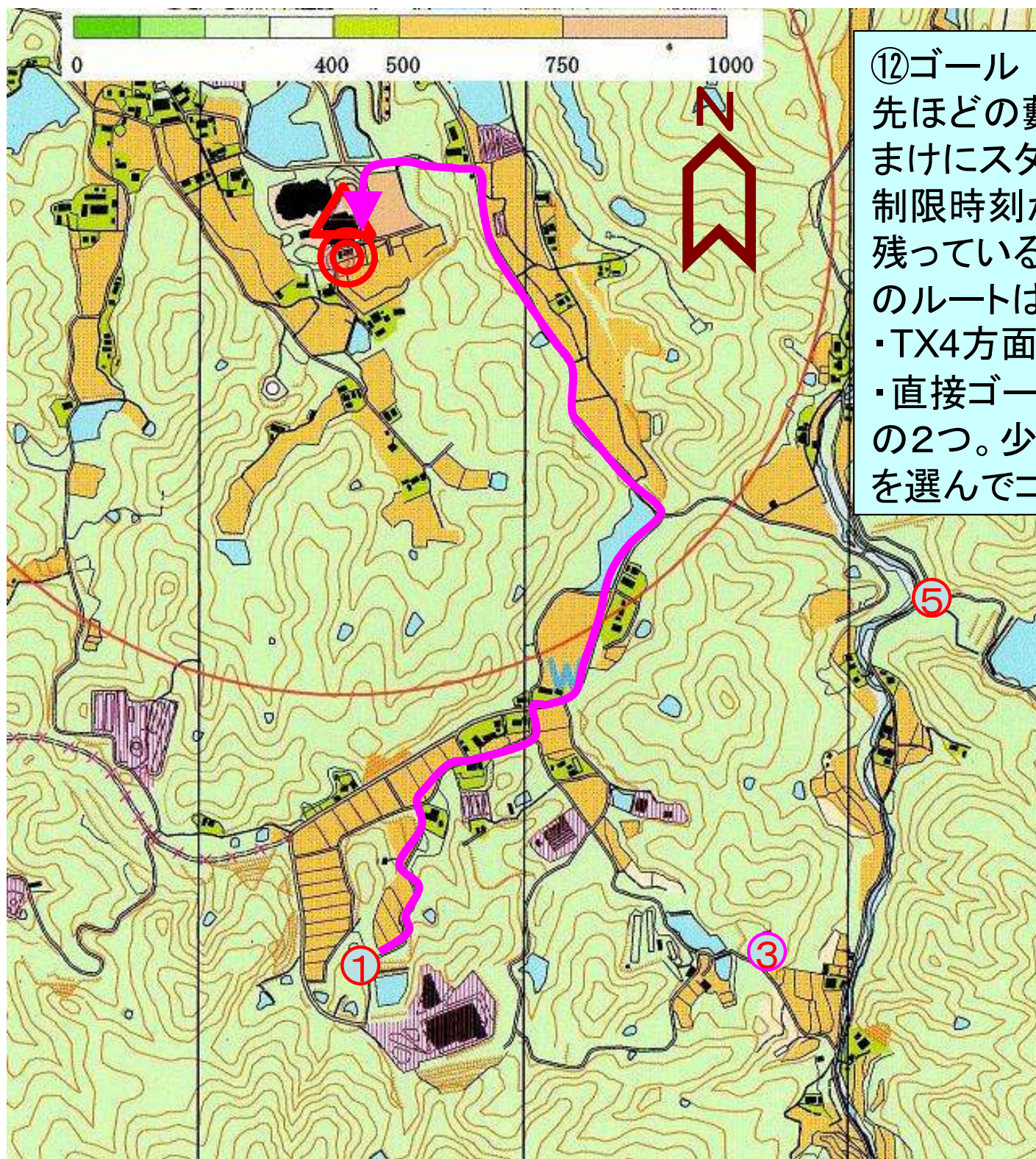
舗装路は下り坂だ。しかし、この近辺にTX1がある可能性もある。目視探索しながらゆっくりと降りる。TX1が鳴く。くだり坂一直線方向の藪だ。一目散に駆け下り、藪の下の道に入る。すると方向が藪の上の方向に変わって停波。藪を登ることにする。





⑪TX1
藪の上には小路があり、人が行き来している。奥地に入っていく人もいたがなかなか戻ってこない。しかし先ほどの方向だとそんな奥地にはないはずだ。TX1が鳴く。奥地だ。入っていくと下の方にフラッグが見える。なんだ、藪に上らずまっすぐ行けばよかったのだ。TX1ゲット。

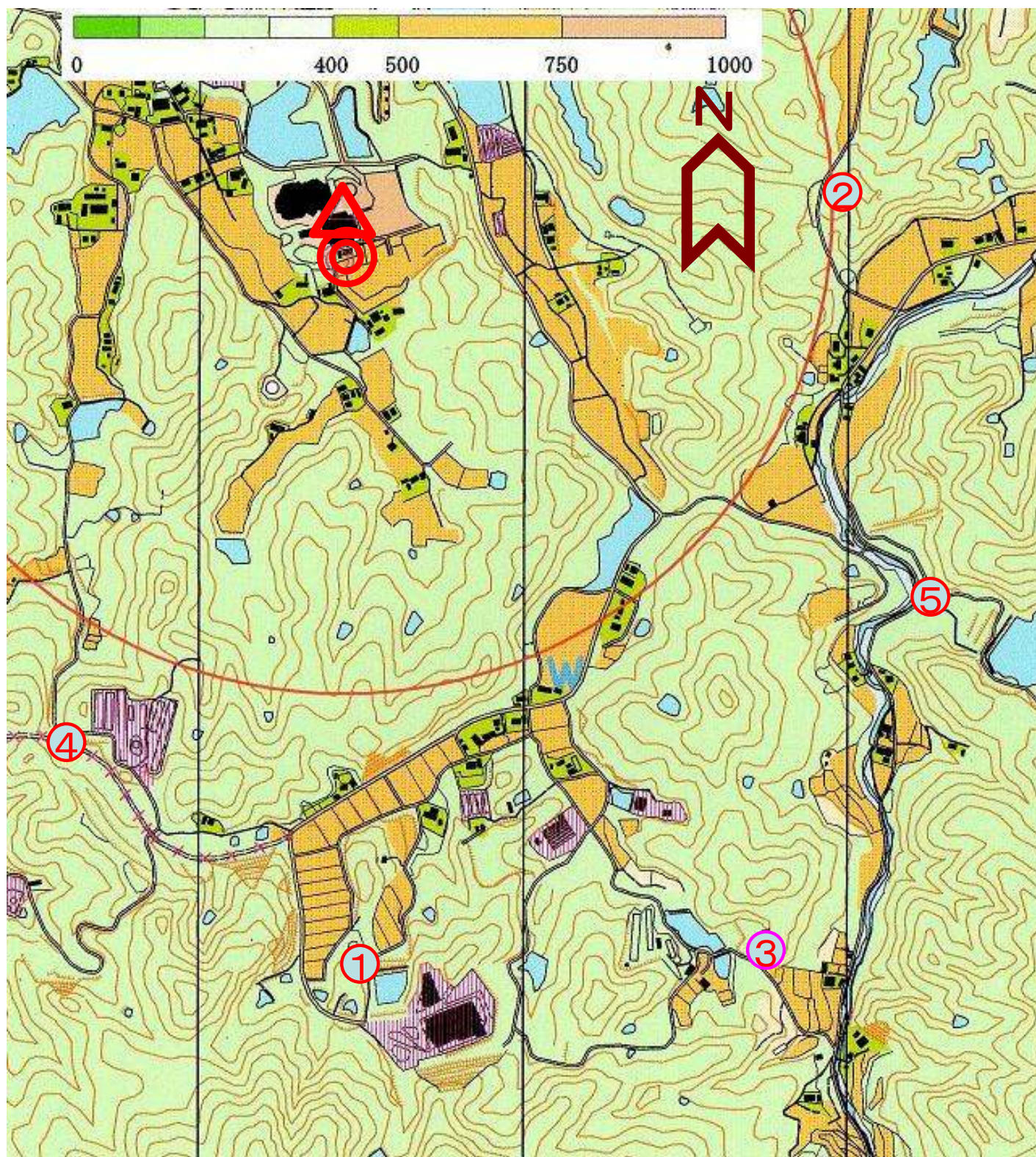




⑫ゴール

先ほどの藪コギで完全に戦意喪失。おまけにスタート時刻をメモるのを忘れ、制限時刻がわからない。あまり時間が残っているようには思えない。このあとのルートは

- ・TX4方面を経てゴールへ向かうルート
 - ・直接ゴールへ向かうルート
- の2つ。少しでも距離が短い直接ルートを選んでゴールへと向かう。ゴール。



おわり

反省

◇今回の最大の敗因は、TX3→TX1への藪コギをしてしまったことだ。その前に、TX1の位置が焼却場の手前か否かという判断が甘かった。手前の場合、TX3から400mを考えるとかなり設置場所が限定される。後から考えれば、そんなギリギリの設置をしなくてはならないほどトレインは狭くなかった。そう考えると、TX3からは下の道に行く判断が正解だった。

◇またTX1ゲット後、GOALへの最短コースをとってしまった。後で考えれば、TX4経由で帰ることが可能な時間だった。スタート時刻記入忘れという凡ミスだ。組人数の多い大会ではどうしても団子ゲットになるので、TX近傍に行きさえすればロスタイムなしにゲットできたであろうに。